

こんどの知事選挙 日本共産党はこう考えます

日本共産党は、県政の後もどりを許さず、改革をさらに前に進めることをよびかけます。
日本共産党は独自候補を立てず、自主投票とします。

県民の世論が県政を変えてきました

県民は、六年前、利権・ムダ遣いの県政に終止符をうち、知事を変えました。日本共産党は、県民の切実な願いを知事に建設的に提案してきました。県民の世論と運動もあって、県の予算は、大型公共事業から、教育、福祉、くらし重視に大きく変わりました。県民が反対したダムが中止されました。小学校全学年で三〇人規模学級が実現し、乳幼児医療費は就学前まで無料になりました。道理のない「同和行政」が終結し、地方労働委員の任命も公平になりました。

今年度は、はじめて社会保障費が公共事業費を上回り、県の借金も五年連続減少しています。

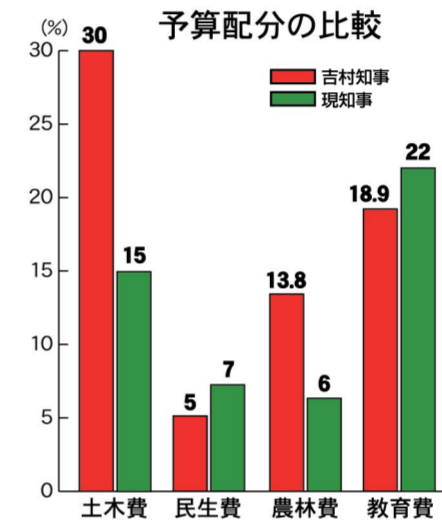
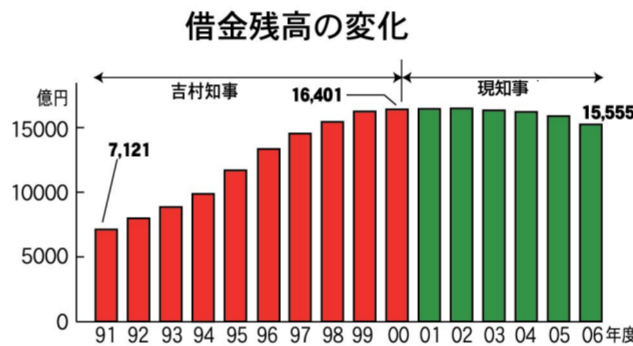
自民党・旧勢力がねらう古い県政への後もどりは許せません

旧県政は、大型公共事業を優先させ、全国ワースト二位の借金財政をつくりました。教育、福祉など、県民の願いは届きませんでした。

いま、自民党・旧勢力がねらっているのは、この県民不在の県政復活です。

ねらいは利権県政復活

- 「ダムをやるべき」「人を変えれば(ダムができる)」(長野市長)
- 公共事業の平均落札率を再び上げて、早く「普通の県」に(自民党衆議院議員)
- 「長野県の夜明けも近い」(自民党県議)と100条委を設置
- 同和補助事業の廃止を批判、知事をかえると(部落解放同盟)



日本共産党は自主投票とします 「いいことば」の立場をとりぬきます

日本共産党は、前回は、知事不信任に反対し現知事を支援しました。しかし、今回は、党として支援することはできません。

日本共産党は、この間、高校統廃合や、在宅介護慰労金・C型肝炎患者への医療費補助の廃止、職員との協力関係の不十分さなど、県民の利益にならないことば、きっぱり批判してきました。

また知事は、消費税増税や憲法九条改変をかかげる民主党の次の内閣に加わり、その後、新党日本の党首を兼任しました。こうした姿勢は、県民の利益や思い

と大きく矛盾するものです。日本共産党は県民に責任を負う政党として、県政の改革を前進させる立場にたち、今回は自主投票とします。

県民の利益第一に、建設的野党として全力でがんばります。



民主長野 日本共産党の見解をご紹介します。〒380-0928 長野市若里1-12-7 TEL.026-226-8376 FAX.026-226-2184
ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。 ホームページhttp://www.jcp-ngn.com メール info@jcp-ngn.com

2006年7月号外

国民いじめ、地方政治切り捨て——自・公政治がひどい時だから ぐらしと地域を守る県政の役割発揮を

日本共産党 県政への提言

「住民税が10倍になった」「障がい者の負担はこれ以上耐えがたい」など、自・公政権によって、政治がくらし・福祉に襲いかかっています。県民に温かい県政、希望の持てる長野県をめざして、みなさんと力を合わせてがんばります。

住民税・介護保険料は 県独自の軽減策を強めます

- 乳幼児医療費の窓口無料化をすすめます。
- 県下の医師確保に力をいれて、地域医療を守ります。
- 障がい者自立支援法の問題点の改善を求め、障がい者にも、福祉施設にも支援を強めます。



障がい者団体と日本共産党の懇談

住民参加で治水対策の推進を

- 浅川など、基本高水は美態に見合った科学的調査にもとづくものに見直し、当面は住民の安全度をたかめる河川改修に力をいれます。
- 千曲川全域に流域協議会をつくり、流域住民が安心して暮らせる河川整備計画の策定を求めます。
- 県下各地の河川や地すべり地帯の安全対策を強めます。

自立のまちづくりへの 支援をさらにすすめます

- 政府による、地方自治破壊に反対し、市町村の自立を支援します。
- 暴力と利権、不公正な同和行政を市町村でも完全な終結をめざします。

憲法九条改悪に反対し、 平和な日本へ 信州から発信します。



県下各地で県政報告会を開催。 今後も各地で開きます。

教育と子育て支援を 長野県政の大事な柱に

- 高校再編は、住民や父母、生徒の合意を尊重してすすめます。
- 三〇人規模学級を中学・高校に広げます。
- 教育基本法の改悪に反対し、教育の場、様々な強権政治の持ち込みを反対します。



「県政をよくしたい」と願う みなさんと力合わせ これからも全力をあげます

日本共産党

北朝鮮ミサイル発射 日本共産党厳しく抗議

「公海に達するミサイルの発射は、航空機や船舶に危険を及ぼすもの。ミサイル発射凍結の国際合意に反し、東北アジアの平和と安全を脅かす行為」として厳しく抗議しました。